

県外先進校視察
における
好事例の紹介

児童生徒が主役になる授業～新潟市～



新潟市では、全国学力・学習状況調査において、小学校、中学校ともに全ての教科で全国平均を大きく上回る成果が出ています。

児童生徒が主役となるための3つの授業づくりの視点を紹介します。

主体的・協働的な学びを実現する「学習課題とまとめ・振り返り」のある授業

学習課題は、内容性（価値あるもの）・集団性（みんなで考えたいもの）・情意性（わくわくするもの）を意識し、**課題の質の向上**を図っています。

また、**振り返りの充実**を行うことで、子どもたちに学び方を身に付けさせています。

新潟市教委のHPに詳細（リーフレット）が掲載されています。

「選択と集中」「やりきる」で
学校が変わる!!

新潟市の 授業づくり

新潟市が目指す授業づくり

- ◇主体的・協働的な学びを実現する「学習課題とまとめ・振り返り」のある授業
- ◇生徒指導の視点を意識した授業
- ◇全ての子どもが安心して参加できる授業

生徒指導の視点を意識した授業

授業では、「**目的意識**」「**自己決定**」「**個性・能力**」「**協同性**」の4つの視点を取り入れることで、子どもたちが自律性・社会性を身に付けられるようにしています。

また、子どもたちを学習の主役にするために、**ファシリテーション**のスキルを授業に取り入れる学校もあります。
※ファシリテーション：発言や参加を促したり、話の流れを整理したり、合意形成や相互理解をサポートするリーダーの能力。

全ての子どもが安心して参加できる授業

「学習課題」と「まとめ」のある授業を行う。板書を構造化する。ICTの活用。課題の量の調節などを行い、子どもたちが安心して授業に臨めるようにしています。

〔新潟市立寄居中学校視察参加者の感想〕

- ・印象に残っているのは、生徒の学習意欲の高さです。ほとんどの生徒がしっかりと授業に入っており、学習すること、話し合うことが日常化しており、本来、学校現場でもっと見られるべき「生徒の顔」が見られました。
- ・少人数グループで、指導案検討～授業参観～反省を行う「JKK（授業で、子どもを、変える）プロジェクト」は、教師がお互いに学び合え、教師が学び合う姿を子どもたちにも見せられる良い取組でした。